

# 大網ロータリークラブ

## Club Weekly Bulletin

- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：毎週水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター TEL0475-73-3337 FAX73-4360
- 事務所：〒299-3251 大網白里町大網450-6 ユアサビル2階 TEL0475-70-0200
- 会長：宮間 文夫 幹事：大越 将司
- 広報・公共イメージ向上委員会 委員長 石田 英世 副委員長 小高 徹



2019年3月13日(水)

第20巻 第32号

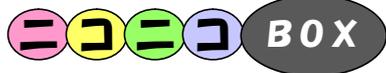
通巻第893

http://www.oamirotary.com  
E-mail rc@oamirotary.com



### 本日の例会

点 鐘 会長 宮間 文夫  
ソング それでこそロータリー  
会長挨拶 会長 宮間 文夫  
幹事報告 幹事 大越 将司  
卓 話  
大網白里市 出前講座  
「消費者トラブルに気を付けて」



高山G補佐・石田G補佐幹事より  
遅くなりましたが、I.M.ではお世話になりました。ありがとうございます。  
高野祐二会員  
誕生日、ありがとうございます。  
ニコニコです。

例会日	3月6日	2月20日
会員数	30	30
出席	21	16
欠席	9	14
MU	0	0
免除	0	1
出席率	70.00	56.67

### 会長挨拶

宮間会長所用の為、矢部会長エレクト代読



皆さんこんにちは！平成最後の3月に入りました。  
私は、元号でいいますと、平成と次の元号をまたぐ、大網ロータリークラブの会長を務めさせて頂いた事になります。

本日は、奨学生のナディーシャさん、ようこそおいで下さいました。また、卓話もいただけるという事で、どうぞよろしくお祈りします。今日のお誕生日祝いは、佐久間会員、高野会員、大塚会員です。おめでとうございます。

また、春はもうちょっと先なのですが、会員の皆様におかれましては、ご自愛下さいまして、ご活躍されますようお願いしております。ありがとうございました。

### 奨学金・委嘱状 授与式・誕生日祝



米山奨学生 ナディーシャさん



米山地区役員 佐藤廣子会員



高野祐二会員 S43 (1968) 3.27

### 卓 話

米山奨学生 ナディーシャ様

### ～人生を変えた奇跡の出会い！～



皆様改めましてこんにちは。本日はクラブでの最後の卓話ということで、とても悲しいですが、精一杯させて頂きますので、よろしくお願い致します。

私の人生を逆転させるきっかけとなった2つの出来事があります。1つ目は日本に留学できたことです。そして、2つ目はロータリー米山記念奨学生として選ばれたことです。なぜそう思うのかというと、母国で大学入学に失敗し、未来も希望も失われた私に新たな夢を与えてくれたのは日本です。そして、その夢を実現できるように経済的だけではなく、生活や精神面など数え切れないほどのサポートをしてくれたのはロータリー米山記念奨学会でしたからです。

ロータリーの奨学生になってから、ちょうど2年経ちましたが、私はその2年間、あっという間のように感じています。ロータリー家族との出会いは、私の人生を変えた奇跡の出会いといっても過言ではないです。大学では学べないたくさんの方の事を学び、普段の生活では、なかなか会えないような方々と、信頼関係を築くことができ、今の私はとても成長しているのではないかと私は感じております。

カウンセラーが日本のお母さんお父さんとなり、世話クラブのみなさまが、まるで家族の一人のように私を受け入れてくださいました。そのような出会いを一生大切にしていきたいと私は思っております。そして、スリランカの家族から離れ、日本に来た後、昨日や今日になったばかりの蕾のようだった私をきれいに咲かせて輝かせたのは私の日本の家族になった大網ロータリークラブの皆様です。皆様へ心から感謝いたします。

今日までの時間がさっと飛んでいきましたが、2年前私は、初めてこの場に立った日を今も覚えています。その時はまだ大学の授業があったため例会が始まるギリギリ前までに来てすぐにご飯を食べて奨学金を頂き帰っていました。その最初の日、残念ながら、皆様方とちゃんと挨拶ができなかったことと、とても美味しい料理を頂いたのに全部を食べ切れなかったことは、まだ記憶に残っています。次の例会からとにかく皆様方の顔を覚えるように、そして、早くご飯を全部いただくようにと心掛けていました。この場を借りて2年間とても美味しいごはんを用意してくださいましたお母さんへ感謝いたします。どうもありがとうございました。奨学生になる前の私は、大学の友達や先生方以外の日本人との交流する機会があまりなかったのです。皆様のような人生経験が豊かな方々と接することは、はじめてでしたので、どのように皆様と交流した

## 第9回理事会報告

① アリーナソーラー時計の請求書についての報告（四之宮会員より）  
<内訳>

1. 両面ボール型長波時計修繕費  
1式 34,900円
  2. バッテリー 3N-1200SCK 長波時計用  
1個 6,800円
  3. 諸経費（出張交通費）  
1式 8,300円
- 合計 54,000円（消費税 4,000円含）  
② 2019-20年度版 R手帳  
注文子約10冊

### \*セミナー会議及び今後の行事予定\*

① 2018 学年度米山記念奨学生・終了式及び献送会

日時：2019年3月9日（土）  
13:30～登録  
会場：三井ガーデンホテル千葉  
会費：1人 6,000円  
出席者：佐藤地区役員、石田カウンセラー、ナディーシャさん

② 青少年交換オリエンテーション（第5回）

日時：2019年3月17日（日）13:30～  
会場：千葉市文化センター9階  
欠席

③ 第2回会長エレクト研修セミナー

日時：2019年3月24日（日）  
登録9:00 点鐘9:30  
会場：成田ビューホテル  
出席者：矢部慎一会長エレクト  
懇親会：欠席

④ 地区研修・協議会

日時：2019年4月20日（土）  
9:00 登録開始 10:00 点鐘  
会場：アパホテル&リゾート東京ベイ幕張 幕張ホール  
出席者：矢部次期会長、星野次期幹事長谷川会員、石田会員、清宮（満）会員、齊藤（幸）会員、高山会員、吉原会員、小高会員（欠）代理 小倉光夫会員、堀本会員、宮間会員、佐藤会員  
送迎バス依頼 小倉観光サービス

⑤ 第10回ガバナー補佐・委員長会議

日時：2019年4月27日（土）  
14:00～17:00  
会場：三井ガーデンホテル千葉「飛鳥」  
出席者：高山ガバナー補佐

⑥ 第36回オープンーナメント極真空手道千葉県選手権大会

日時：2019年4月28日（日）  
午後12時～  
会場：千葉県武道館（千葉県総合スポーツセンター内）  
出席者：齊藤（幸）会員、堀本会員  
四之宮会員

⑦ 地区大会記念ゴルフ大会

日時：2019年5月20日（月）  
7:30～in out 同時スタート  
会場：久能カントリー倶楽部  
千葉県富里市久能722  
プレーフィ：22,000円→ゴルフ場にて各自精算（個人負担）  
（ギャイ付4B・乗用カート・1ドリンク付昼食・パーティー含む）  
登録料：10,000円（クラブ負担）  
登録方法：4月1日（月）10:00～Webサイトより

※定員144名に達し次第終了  
参加者：清宮建治会員、石田英世会員、吉原久男会員

⑧「ロータリーデー・希望の風コンサート」講演会

日時：2019年5月22日（水）13:30～  
会場：千葉市文化センター  
登録料：無料 欠席

ほうが良いかを考えていました。最初は人見知りで、緊張と不安をもちましたが、クラブでのさまざまな活動に参加したり、毎月の例会に参加したりしていると、気づいていない間に一緒に楽しんだり、笑ったりするだけではなく、皆様が私の家族のような存在になっていました。皆様、たくさんの楽しい思い出、ありがとうございました。大網ロータリークラブはとても家族感が強いと先輩の奨学生からも私は聞いておりました。細かなことからという奨学金以外に交通費も渡されているクラブは他にないと思えます。そのような細かなことまで私のことを考えてくださいましたみなさまへ心から感謝いたします。

今までの2年間の奨学生生活で得たものが数え切れないほどあります。まず、学習面では、大学卒業するまでに必ず取得したいと思っていました、日本語の資格や英語の資格を思い通りに取得することができました。そして、大学卒業後の大きな目標でした日本での就職も志望通りに決まることができ、自分がとても成長してきたのではないかと感じています。ところで、2年前に経済的な理由で夫は大学を辞めようかと考えていましたところ、私はロータリー奨学生として選ばれ皆様のご支援を頂いたお陰で、私だけではなく夫の人生も大きく変わったと私は感じています。皆様が見守って下さいましたからこそ、夫も無事希望の会社に就職することができました。皆様方の優しさに心から感謝いたします。

また、学習面以外でも私はたくさんのことを学び、数え切れないほどに貴重な経験をえています。そして、何よりも、私にとって一番大切なのは人生宝物と思えるような出会いです。世話クラブに来ると私を温かく迎えてくれる皆様が私にとってもう一つの家族です。嬉しいときには一緒に喜んでくださり、辛いことがあれば、しっかりとアドバイスをし、見守って下さいました。

みなさまの支援を頂くようになったからこそ、私の人生がまたキラキラと輝きはじめたのではないかと私は感じています。奨学金を頂く前には私は学費がちゃんと払えなくて、とても辛い思いをしてアルバイト浸りの生活を送った経験もあります。大学の9時から夕方4時までの授業が終わってから急いで6時から夜10時までのアルバイトへ、時には深夜アルバイトで夜10時から朝6時までのアルバイトもしたことがあります。そのような生活を送ってきた私を助けてくれたのはロータリアンの皆様です。皆様のおかげで私の人生が大きく変わり、変化のある日常を楽しめるようになったのではないかと私は感じています。また、両親に経済負担をかけずに勉強を続けられたのも皆様のおかげです。

2年前のことですが、私はロータリー奨学生として選ばれたことを母親に伝えた時に母が嬉しくて思わず泣き始めました。「ロータリアンの方々があなただけを助けてきて頂いた神様です！」と今も話しています。母の言う通りです。私の神様がロータリアンの皆様です。人生を変えた奇跡の出会いで、感謝してもしきれないと私は感じています。

ほかの奨学金と違ってロータリアンの奨学金はお金では買えない友情、愛情、異文化経験や人生の宝物と思えるような皆さんの出会いを私たち奨学生にプレゼントしてくれています。そして、ロータリー米山記念奨学生として選ばれたことは、自分の人生を振り返ったときに後悔のない人生を送るための道を案内してくれているかのように私は感じています。また、ロータリー奨学生になり、同じ留学生で異なる国籍の優秀な人たちとの交流も深めることができてきました。育ってきた環境も文化も価値観も違う人達とでも、お互いの立場で考えると共通点が見つかり、信頼関係を築くことができたのは私の大きな財産となりました。

そして、大網ロータリークラブとのご縁は奇跡的なのではないかと私は感じております。なぜならば、大網クラブは私が来る前からスリランカと深く関わりがあったからです。大網クラブは何度もスリランカに訪れ、現地の子供たちへのご支援を今も続けているクラブだと知った時の私はとても嬉しい気持ちになりました。私だけではなく、たくさんのスリランカの子供たちに希望を与え、自分の夢を実現できるように勇気を与えてくれているみなさま方に会えたことを、誇りに思っております。そのようなことから、他の奨学生からも「ナディーシャさんのクラブはすごいですね」と言われています。その通りです。大網ロータリークラブのみなさま方、2年間ずっと私を温かく見守って下さり、そして、私を奨学生として選んで下さり誠にありがとうございました。心から感謝しております。

ここで皆様にご報告したいことが2つあります。今月17日は私の人生の中で一番嬉しい日になります。なぜならば、その日は大学の卒業式が行われるからです。日本に留学して5年間努力を続けてきた結果になる卒業式はとても待ち遠しいです。ところがちょうどこの卓話を書いている時に突然担任の先生からメールが届きました。メールの内容を見ました私はまず、嬉しくて泣きました。それは、卒業式で私は観光ビジネス学部の代表の1人として選ばれましたと言うメールでした。先生に詳しい話を伺ってみると私は、成績優秀で表彰されるということも知りました。これは私だけで果たせたことではなく、遠くから見守ってくれた家族、そして、苦しい時、困難なときに支えて下さいました皆様のおかげだと感じており、深く感謝しております。次の報告はスリランカに住んでいる私の両親と弟が、卒業式に参加するために日本に来られるはずがおりましたということです。ちょうど今日、スリランカから出発し、明日は日本に到着する予定です。

今回の日本訪問は家族にとって初海外旅行となります。はじめての海外が日本となったことはとても嬉しく思っております。スリランカと違った日本の文化をスリランカにいる家族にも味わってほしい、そして、私が魅了された日本の環境の素晴らしさや日本の方々のおもてなしの心を両親や弟に紹介したいと思っています。この機会に、日本での自分の成長した姿を両親に見てもらおうことでこれまでの感謝の気持ちを伝えたいと思います。また、日本での留学生活の充実度、満足感を実際に二人に感じてもらえたら、と思っております。4月から始まる私の社会人生活に対しても両親は不安を感じているのではないかと思っていますので、日本での安全な生活を体験してもらおうことでその不安も少しは和らぐのではないかと期待しております。

何よりも、大網ロータリークラブの皆様方の支えがあるからこそ今回の旅は家族にとって思い出に残る最高の旅になると私は信じております。

最後になりますが、私は、みなさまと過ごしたこの2年間とても幸せでした。これからは月に一度会えないかもしれませんが、ナディーシャのことを忘れないで下さい。また、来年も、子供食堂など大網クラブのイベントすべてに誘ってください。必ず時間を作ってみなさまにお会いに行きます。大網クラブの皆様方は私の家族です。みなさまが必要な時いつでも呼んでください。辛い時こそ私のそばにいてくれたのはみなさまです。これからは私がみなさまに恩返しをしていきますので、いつまでも元気でいてください。

奨学生として例会に参加することは今日で最後になるということを考えてとても寂しい気持ちになります。しかし、「1つのドアが閉まればもう一つのドアが必ず開きます。」その言葉を信じて、スリランカと日本の架け橋になるためにそして、いつの日かロータリアンになるために、という2つの目標達成に向けてこれからも努力を続けていきたいと思っております。

いつの日かお世話になったみなさま、日本、そして、母国のスリランカに恩返しができるような、人に役立つ素敵な社会人として活躍することを願い、ロータリー奨学生になったというこの貴重な機会を一生大切にしていきたいと思っております。2年間大変お世話になりました。心から感謝いたします。皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。本当にありがとうございました。